

豊成小学校適正配置実施(案)

地域説明会ニュース

川西小地区

10月26日(木)午後7時から川西小学校音楽室で開催された『豊成小学校適正配置実施(案)』についての地域説明会の状況をお知らせします。

1. 説明会の状況

説明会には、川西小 PTA や学校評議員、地域にお住まいの方など概ね 30 人の出席があり、はじめに山本学校教育部長から挨拶の後、計画内容の説明、質疑応答に移りました。



2. 主な質疑の内容

出席者からの主な質疑応答は、次のとおりです。

(質問) 豊成小学校の移転については決定したのか。

(回答) 新しい校舎の位置については、お示した案の場所で決定したいと思っており、校舎の位置以外の意見や要望について伺い、11月1日の第2回豊成小学校地区の地域説明会に向けて、庁内において検討している最中です。

(質問) A地区以外の宅地開発地域では、A地区のように区域外通学ができるのか。

(回答) できるだけ、地域住民の事情を伺いながら、希望に沿えるよう対応していくつもりです。市では、新しい試みとして、A地区を川西小・川西中と豊成小、南町中とを学校選択のできる地区にしたいと思っておりますが、基本は、豊成小、南町中の区域と考えています。

(質問) A地区において、川西にバスで通うことができるのに、豊成小へ徒歩で通学する時に事件があった場合、教育委員会は責任を持つのか。

(回答) 他の地域の徒歩通学時の事件事故等についても、保護者の責任としており、A地区においても同じようなルールになるものと考えています。

(質問) A地区において、出現する子どもは何人と見込んでいるのか。

(回答) 一定の発生率で試算すると、最大で小学生が130人程度、中学生が70人程度と考えられます。

(質問) 豊成小学校の改築費用はどのくらいなのか。

(回答) 建物だけをみると、校舎で15億円、屋内体育館で3億円程度かかるものと見込んでいます。

(質問) 宅地開発に伴って学校を建設すると、何十年後には学校に空き教室ができるのではないか。

(回答) 「帯広市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」では、将来に向けた適正な規模の学校は、小学校 1 校当たり 12～24 学級としており、特に南地区は人口の増加などが見込まれるため、小学校は現在のままの 3 校と考えています。

(質問) A 地区の児童生徒が、選択制により川西小、川西中を選ぶように、魅力的な学校となるような支援方策を考えているのか。

(回答) 魅力のあるいい学校とは、地域や P T A、先生などの熱意によって作られるものと思っていますので、地域の皆さまの力を今までと同様に小学校や中学校に注いでください。

(質問) A 地区を豊成小学校の校区としなければならない理由はどのようなものか。また、A 地区の北側についても選択制にする考えはないのか。

(回答) 一体としての宅地開発地域内であることや、町内会や地域コミュニティを考えて、A 地区を豊成小にすることとしました。しかし、小規模校へ通いたいと思う市民のことも考えて、学校選択のできる地域としました。

また、A 地区の北側を選択制にすることについては、どこの場所で通学区域の線引きをするかということになりますので、教育委員会としては今回お示しした既存の川西小地域を選択制の地域としました。

(質問) A 地区を豊成小学校の通学区域とすると、そこに住む住民は入学通知のとおり豊成小に通うのではないか。そうであるならば、A 地区は現在のまま、川西小・川西中の区域としてほしい。

(回答) 川西地域から強い要望があったということで、内部で検討をします。



ご意見・お問い合わせ

帯広市教育委員会 学校教育部総務課

〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地 (市役所本庁舎 8階)
電話番号 0155-24-4111 (内 2511) ファックス番号 0155-23-0161
メールアドレス school_general@city.obihiro.hokkaido.jp